

2006年度のキャンペーンでみなさまから寄せられた募金は、423万8086円にものぼりました。その全額を、AMDA、ケアフレンズ岡山、ハート・オブ・ゴールド、リベリア基金の4つの国際救援団体にお届けしました。募金の使途について、各団体から以下の報告書が届けられました。さっそく、テレビ・ラジオ・インターネットを通じてみなさまにお伝えしました。詳しくはホームページをご覧ください。(http://www.rsk.co.jp)

AMDAからの報告(2008年2月)

毎年ご支援いただきましてありがとうございます。2007年にいただきましたご支援は、ソロモンでの緊急医療支援活動とインドネシアでの開発支援活動に充当いたしました。

ソロモン諸島沖地震・津波緊急医療支援活動

2007年4月2日、南太平洋に浮かぶ国・ソロモン諸島の沖合いで、マグニチュード8.1の地震が発生、その後大規模な津波が押し寄せました。被害がソロモン諸島西部の島々の広範囲に渡っていたこともあり、支援の行き届かない島々が多く存在している状態でした。そこで、AMDAは本部から調整員1人とインドネシア支部から医師1人を派遣、支援の届いていない島の一つ、チョイスル島のササムンガ病院にて被災者への診療活動を行いました。

被災者の多くは、津波によって住居を失い、政府から配られたシートを屋根代わりにしてとり合えずの避難生活を送っていました。被災者が頼れる病院はササムンガ病院しかなく、AMDAの医師が診療に加わることで、避難生活が原因と思われる呼吸疾患や皮膚病等の治療を行うことが出来ました。4月21日から5月5日までの15日間の活動期間中に、合計388人の被災者を診察しました。

皆さまからのご支援は、この活動に不可欠な、消炎剤、抗生剤、ビタミン剤他各種医薬品の購入と、医療支援チームの派遣費用また現地スタッフ雇用費等の救援活動費に充当させていただきました。

現在、復興支援活動として、地震と津波により被害を受けた8つの保健医療施設に、予防接種ワクチン保冷用冷蔵庫を供与するプロジェクトを行っています。AMDAは、災害直後の緊急支援に留まらず、中期的な復興支援活動も行っています。今後ともご支援のほど宜しくお願いします。



ササムンガ病院で被災者を診察する
インドネシア支部スーリア医師

インドネシア・アチェ社会開発事業活動

2004年12月26日に発生したスマトラ沖大地震・インド洋津波で最大の被害を受けたインドネシアのアチェ州で、津波の被害にあった子ども達と、また一方30年間にわたりアチェの分離独立を求める反政府勢力と政府側との間で繰り広げられた内戦の影響が大きい地域の子どもの達を対象に、心のケアのための活動(REACH: Reading, Learning, Creativity for Healthy Life in Aceh)を実施。この活動は、津波・内戦によって負った子ども達の心の傷を癒し彼らの健やかな成長を支援することを目的としています。この活動において皆さまからのご支援は、書棚等備品、書籍の購入のほか、将来地元のボランティアが自立的に読書・創作活動・ゲームに保健衛生教育を組み合わせたこの活動を継続できるよう、図書館運営を含むトレーニングにかかる費用に充当させていただきました。



絵本を読んでもらう子どもたち
(インドネシア・アチェ)